



医療施設向け セキュリティ・BCP教育 Eラーニング（無料）のご案内

- 医療職のためのDXサイトでは、全国セキュリティ調査アンケートで寄せられた“教育の時間がない”という声を受け、誰でも無料で学べるセキュリティ・BCP教育（Eラーニング）を開放しました
- ・受講後は修了証や教育記録が残り、現場の安心と制度対応を同時にサポートします

サイバー
セキュリティ
教育
【初級】



サイバーセキュリティ教育【初級】

あなたは参加者です

無料

詳細を表示する

- ・全ステップ受講し、テスト合格で修了証をメール送付

スマホ受講QRコード

修了証

個人の受講記録

<https://www.medical-s-p.com/challenges>



教育の必要性

全国施設セキュリティ・アンケート結果

✓ 約8割の施設が「セキュリティ教育を定期実施できていない」

サイバー攻撃や災害による「**診療停止リスク**」は、病院施設 共通課題です
職員一人ひとりが理解し、行動できる体制が求められています

プログラムの特徴

対象：全国の医療従事者（医師・看護師・技師・事務・・・）

形式：図解入り教材＋確認テスト

受講環境：スマホ・PCから受講可能（勤務外・自宅OK）

修了証：合格者にPDF修了証を無料配布

（管理：医療／セキュリティ専門職）

無料Eラーニングで、明日からもっと安心に！
あなたの病院を守る第一歩がここにあります





■ 診療録管理体制加算 支援パッケージ

～教育・記録エビデンスを自動化し管理工数を削減～

■ 診療録管理体制加算（140点）とは

対象：200床以上の病院

条件：診療録の保存・管理体制を整備していること



■ 経営効果

診療録管理体制加算は 入院1回につき140点(約1,400円) が追加されます
加算の有無で 年間収益に大きな差が出るため、確実な体制整備が必要です

最も負担が大きいのは、全職員にサイバーセキュリティ等の教育を行い、その受講記録を管理することです

また、この記録が算定要件として実地指導で確認されます



■ 集合研修で対応する場合の課題



- ・ 職員数が多く、全員が同じ時間に参加できない
 - * 400床の病院では平均800～900人前後の職員規模
- ・ 教育実施後に 出席簿や記録を集める工数が膨大
- ・ 夜勤/交代制のため参加率が下がる
- ・ 証跡をエビデンス化するのに事務負担が大きい

■ 本パッケージで解決できること

- ・ Eラーニング方式
 - スマホ・PCから 好きなタイミングで受講可能
 - 勤務外・自宅からもアクセスでき、集合研修に参加できない職員も受講可能
- ・ 教育記録の自動化
 - 個人ごとの受講履歴を CSVログで自動出力
 - 年間教育計画書・教育実施記録フォーマットに即転用可能
- ・ 厚労省ガイドラインに沿った教育
 - ガイドライン6.0について網羅的かつ現場視点で簡潔に教育



■ 提供物

- ・ 初級・中級セキュリティ教育、診療録管理体制教育 ・ 教育テキストPDF、確認テスト/回答
- ・ 修了証自動発行
 - ・ 年間教育計画書/教育実施記録（雛形）
- ・ 診療録管理規程（雛形）
 - ・ 契約時オンライン相談（教材配布・説明会形式）

■ 価格（年間サブスクリプション）

- ・ 小規模施設（200床未満・クリニック等） **年額3万円**
- ・ 中規模施設（300～799名・200～399床） **年額10万円**
- ・ 大規模施設（800名以上・400床以上） **年額20万円**

一人あたり
年間150円～250円程度



<https://www.medical-s-p.com/challenges>

詳細の利用契約規定はサイト参照

**教育と記録を、自動で“エビデンス”に！
診療録管理体制加算の準備、ここから始めませんか？**

